

国際ロータリー第2660地区ローターアクト報告

地区ローターアクト

代表 **森本 秀樹**
(大阪南RAC)

全国統一アクトの日

去る9月7日（日）、大正区コミュニティーセンターにて、『全国統一アクトの日』が開催されました。

全国統一アクトの日とはク（9）とト（10）にちなみ、9月10日に近い日曜日に設定されます。1982年に全国ローターアクト地区代表会議で発案され、『日本中のローターアクターが全国統一で何かの奉仕事業を行い、市民へのアピールや地区内のローターアクターの意識向上を図ること』という主旨のもとに活動を行います。

今年度は大阪東ローターアクトクラブのホストの下、「動物愛護を通じてマナーを学ぶ」というテーマで行われました。動物愛護の歴史、動物との共生のために彼らへの理解を深めなければならないといった基礎知識、また人と動物の共生の実情などを学びました。さらにグループ毎に「飼い主の責任とは？」や3つの動物虐待の事例に関してディスカッションを行い、様々な意見交換ができました。当

日はニコニコキャンプに参加した小学生数名もゲストとして参加しておりましたが、大人の中で緊張しつつもそれぞれが「病気でもしっかりとお世話をしなければならぬ」「家族の一員だからペットにとって何が一番良いのかを考えてあげないといけない」等、自分の意見をはっきりと伝えていたことに感心してしまう場面もありました。メインプログラム第二部では、実際に犬のしつけを体験し、実際に動物と触れ合うことで、より深い知識を得ることが出来ました。参加者に犬が好きの方が多かったようで非常に盛り上がったプログラムとなりました。練習の段階では飼い主以外の言うことを聞かなかった犬が全員に見せる場になると、こちらの真剣さを感じ取ってくれるのかきっちり言うことを聞いてくれるなど、人も犬も気持ちが大変だと思いました。ペットを飼ったことがある人、ない人に関わらず、動物と共生していくことの難しさ、素晴らしさ等を再確認できた一日となりました。

